

総合技術研究会 2017 東京大学参加報告

自然科学系技術班 鎌田 浩子

実習工場技術班 内田 温子

機械・環境建設系技術班 十河 基介, 川口 隆

主催：東京大学総合技術本部

開催期間：平成 29 年 3 月 8 日（水）～3 月 10 日（金）

開催場所：東京大学本郷キャンパス

1. はじめに

本研究会は、全国の大学、高等専門学校及び大学共同利用機関の技術職員が、日常業務で携わっている広範囲な技術的教育研究支援活動について発表する研究会である。通常の学会とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫や失敗事例なども重視し、参加者の技術交流と技術向上を図ることを目的として開催している。

平成 28 年度は東京大学にて開催され、本学からは 4 名が参加した。

2. 報告事項

実行委員会から発表された参加登録状況報告によると、研究所、大学、高等専門学校、企業等の 103 機関から 911 名の参加があり、発表件数は口頭 170 件、ポスター 230 件であった。期間は 3 日間のスケジュールで、初日午後から初めての試みとして、10 分野を設けた技術交流会がおこなわれた。2 日目には、シンポジウム、開会式、特別講演、口頭発表、ポスターセッション、情報交換会がおこなわれた。最終日は口頭発表のみであった。

2 日目に「技術研究会の歴史とこれから」と題して特別企画されたシンポジウムでは、東京大学のシンボル、安田講堂（写真-1）にて、十河がパネリストとして登壇した。規模の小さな地方大学による総合技術研究会を開催した実績から、平成 24 年度愛媛大学総合技術研究会で得られた経験を 15 分にまとめ、プレゼンテーションをおこなった。その後、討論形式となり、大学や研究所の登壇者ら 6 名で会場からの質疑に対して応答した。

特別講演では、2015 年ノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生による「技術の粋を集めて挑む重力波の観測-KAGARA プロジェクト」と題したご講演を拝聴できる貴重な機会が得られた。



写真-1 東京大学安田講堂

3. おわりに

総合技術研究会は、研究・教育機関の技術系職員が集まる最も大きな全国大会である。熱意のこもった発表を聞き、議論を交わすことは日常業務では得難い有意義な時間であった。

謝辞：このたびの参加にご配慮頂きました八尋技術部長、細川事務課長、関係各位に厚く御礼申し上げます。